

2019 年度第 1 回支部集会【北海道支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

共催：北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部・北海道日本語教育ネットワーク

後援：公益財団法人札幌国際プラザ

開催日：2019 年 7 月 13 日（土）

会場：北海道大学学生交流ステーション

参加者：92 名（会員 45 名・一般 47 名）



交流ひろばのようす



フロアディスカッション

2019 年度の北海道支部集会が、7 月 13 日（土）に北海道大学で開催されました。今年度は 3 部構成となり、午前中の第 1 部はポスター発表および交流ひろば、午後の第 2 部は口頭発表、第 3 部は神吉宇一先生による講演「移民受け入れ社会における日本語教育の現状と課題」およびフロアディスカッションが行われました。

支部集会に先立つ 6 月 21 日に「日本語教育の推進に関する法律」が可決・成立した直後で、第 3 部の講演テーマが非常にタイムリーなものとなったため、参加者 92 人と北海道支部集会としては近年では例を見ない大盛況となりました。とりわけ日本語教育学会の会員でない方の参加が多く、外国人材に対する日本語教育への関心の高まりが感じられました。

ポスター発表、交流ひろば、口頭発表はそれぞれ 4 件で、ビジネス日本語、留学生指導、地域の生活者支援などさまざまなテーマでの研究や活動が紹介され、質問も途切れることなく活発な議論が行われました。

講演とフロアディスカッションでは、法律制定までの経緯やその意義、これからの課題が示された後、グループに分かれて「日本語教育を行うことによって何が良いのか」「日本語教育の専門家が関わる場合と関わらない場合と何が違うのか」をめぐって議論し、出された意見を他グループと共有するという活動を行いました。アンケートでは、講演が大変勉強になった、今後の励みにしたいという声が多く見られました。遠路はるばるお越しくださり、貴重な機会をご提供くださった神吉先生に厚く御礼申し上げます。

予想を超える多くの方々にお越しいただいたこともあり、会場に関してご不便をおかけしたことをお詫びいたします。天候が不順な中ご来場くださった全ての方々、運営にご協力くださった皆様に心より感謝いたします。

（報告者 支部活動委員 山路奈保子）